



林業福島

No. **704**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 小檜山善継



4

2023

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 春の日射しを浴びて



豊かで活力ある森林を次の世代へ

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 小檜山 善 継

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会の運営につきましては、日頃よりご支援、ご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、この三月十一日で東日本大震災から九十二年が経過しました。震災、原発事故で大きな影響を受けた森林・林業の復興・再生は、関係者の皆様の懸命な努力はもとより、多くのご支援を頂いて歩を進めてまいりました。

しかしながら、森林・林業の再生を成しとげ豊かな暮らしを取り戻すためには、三年目となる「第二期復興・創生期間」においても、林業関係団体は一体となつて森林整備の推進を始め、林業担い手の育成、きのこ類の生産振興、更には風評の払拭など様々な課題に引き続き積極的に取り組み、本県森林・林業の復興・再生を一層実感できる実効性のある施策を展開することが重要であります。

国においては、カーボンニュートラルを見据えた森林・林業・木材産業によるグリーン成長を実現するための総合的支援、更には、激甚化する災害にも負けない「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」が実施されています。また、県においても「福島県森林水産業振興計画」に基づき、森林再生事業の推進、県産木材安定供給の促進、林業アカデミーふくしまの運営、森林環境教育の拡充など様々な施策が実施されます。

公益社団法人への移行十一年目を迎える当協会は、今後も県内森林・林業関係団体との連携を強化しつつ、ふくしま復興のシンボルとして平成三〇年度に行われた全国植樹祭や全国林業後継者大会の成果が次の世代に確実に継承されるよう、「キラリ！森林づくり」をキャッチフレーズに、人づくり（森林整備の推進と森林・林業の振興）、心づくり（緑化の推進）、産地づくり（きのこ類の振興）及び県土づくり（測量設計調査等の実施）の四つの柱で各種事業を積極的に展開してまいりますので、皆様の一層のご支援・ご協力をよろしく願いたします。

《も く じ》

とびら	
豊かで活力ある森林を次の世代へ	森林管理署メモ.....10
公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会	木の文化を育む④⑨.....11
会長 小檜山 善 継... 1	木材市況・ふくしま東西南北.....12
令和5年度県林業関係当初予算..... 2～5	はなしのひろば・お知らせコーナー.....13
林業アカデミーふくしま就業前長期研修	
第1期生修了式の概要..... 6～9	

令和五年度県林業関係当初予算

福島県農林水産部

1 令和五年度予算について

令和五年度森林林業関係予算は下表のとおりです。

主なものとして、「東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化」については、「ふくしま森林再生事業（四、〇五五、九五七千円）」、「多様な担い手の確保・育成」については、「林業アカデミーふくしま運営事業（二〇一、一一八千円）」、「活力と魅力ある農山漁村の創生」については、「森林とのきずな事業（二二、〇一一千円）」に取り組んでまいります。

2 施策の展開方向

福島県農林水産業振興計画では、次の六つの施策の展開方向を示しています。

- (1) 東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化
- (2) 多様な担い手の確保・育成
- (3) 生産基盤の確保・整備と試験研究の推進
- (4) 需要を創出する流通・販売戦略の実践
- (5) 戦略的な生産活動の展開
- (6) 活力と魅力ある農山漁村の創生

(単位：百万円)

森林・林業・木材産業の予算額（当初）

区 分	R 5 当初	R 4 当初	増減額	前年比
予 算 額 計	16,515	17,433	△ 918	94.7%
一般事業費	8,661	8,663	△ 2	99.9%
公共事業費	7,854	8,770	△ 916	89.6%
一般公共	5,949	6,845	△ 896	86.9%
県単公共	1,905	1,925	△ 20	99.0%

(注) 予算要求は、林業費（職員費、試験研究費を除く）と林業災害復旧費の合計を計上

六つの施策展開方向のうち、森林林業関係において重点的に取り組む四つの施策展開について、主な予算概要をご紹介します。

一、東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化

◆放射性物質除去・低減技術開発事業（森林林業） 二二、四〇二千円

安全・安心な林産物生産のため、放射性物質除去・低減技術等を開発し、成果を迅速に現場に普及します。

令和五年度は、放射性物質の林産物・特用林産物への影響の実態把握と、吸収・抑制・低減技術の開発による生産者支援技術を確立するため、次の調査研究を行います。

- ア キのこの放射性セシウム移行メカニズムの解明
- イ キのこの放射性セシウム汚染対策に関する研究
- ウ 山菜類の放射性物質汚染動態の把握と汚染低減対策
- エ コナラ等立木の汚染実態に関する研究
- オ コナラ等立木の放射性セシウム移行要因等に関する研究
- カ コナラ等広葉樹の利用促進に関する研究
- キ 森林内における放射性物質動態把握調査事業

◆ふくしま森林再生事業

四、〇五五、九五七千円

原発事故以降、放射性物質の影響により間伐等の森林整備が停滞し、森林の荒廃が懸念されることから、公益的機能の維持増進を図る森林整備とその実施に必要な放射性物質対策を行い、森林の再生を図ります。



土砂の移動を抑える丸太筋工

- ① 事前調査や森林所有者の同意取得等
- ② 整備前後における空間線量率の測定
- ③ 土砂移動抑制対策（丸太筋工の設置等）
- ④ 森林整備（間伐、更新伐等）
- ⑤ 路網整備（森林作業道の開設等）

◆広葉樹林再生事業

一、〇〇七、八五〇千円

放射性物質の影響によりきのこ原木や薪炭用原木の指標値（原木として利用可能な放射性物質濃度）を超える原木林については、原木の生産が停止し、次世代への更新に必要な伐採が停滞していることから、萌芽更新（ぼうがこうしん）を促す伐採を行い、きのこ原木林等広葉樹林の再生を図ります。

①事前調査や森林所有者の同意取得等

②更新に必要な伐採、植栽及び下刈

③路網整備（森林作業道の開設等）

④萌芽枝等の放射性物質濃度調査等



伐採後に萌芽更新した広葉樹林

◆放射性物質被害林産物処理支援事業

九一七、〇〇〇千円

木材加工の工程で発生する樹皮（バーク）については、原発事故前は燃料や肥料等として利用されていましたが、放射性物質の影響から産業廃棄物として処理せざるを得ない状況であるため、製材工場等の木材事業者が安定した事業活動を行い、製材品等の林産物が円滑に流通されるよう、当該処分経費の一部を支援します。また、バークの利用拡大に向けた新たな利用方法の開発や利用に際しての安全性の検証の支援などを行います。

①汚染樹皮処理支援事業

（貸付）六二六、四〇〇千円

（補助）二八二、六〇〇千円

②樹皮利活用安全性検証事業

八、〇〇〇千円

◆安全なきのこ原木等供給支援事業

二七五、五〇一千円

本県は震災前までは全国有数のきのこの原木の供給地でしたが、原発事故による放射性物質の影響により、きのこの原木の生産は大きく落ち込み、その他の栽培きのこの生産資材も運搬経費の掛かり増し等により価格が高騰するなど、生産者にはその調達コストが大きな負担となつてい

ます。

このため、栽培きのこ生産者の経営意欲が減退しないよう、きのこ栽培に必要な生産資材の円滑な調達に取組む団体に対して支援を行い、生産者の負担軽減を図ることにより、本県栽培きのこの生産振興を推進します。

◆里山再生事業 七二、六〇〇千円

住民が身近に利用してきた日常的に人が立ち入る里山において、住民が安心して利用できる里山の環境作りを推進します。

また、里山再生事業における事業効果を検証し、地域住民の安全・安



歩行サーベイによる空間線量率測定

心を確保するため、空間線量率等の測定を行います。

①森林整備及び路網整備

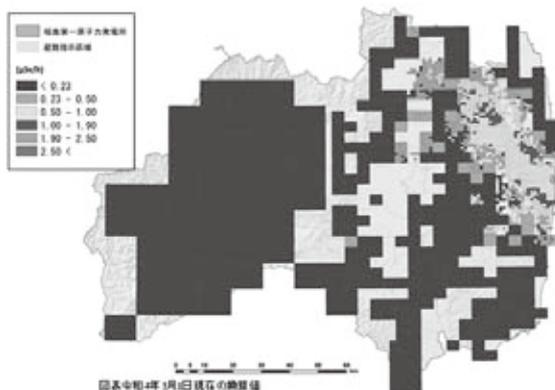
②放射性物質対策

③空間線量率調査

◆森林環境モニタリング調査事業

一〇五、〇〇〇千円

県内の民有林を対象に、森林内の空間線量率や立木、土壌に含まれる放射性物質濃度の調査、実証及び結果の評価・解析等を行い、森林における放射性物質対策を推進するため必要な情報整備を行います。



空間線量率の分布

二、多様な担い手の確保・育成

◆林業アカデミーふくしま運営事業

一〇一、一一八千円

本県の森林再生や林業・木材産業の成長産業化の実現に必要な林業人材を育成するため、林業アカデミーふくしまにおける研修を実施、運営します。

①研修運営費（林業アカデミーふくしまにおいて就業前長期研修及び短期研修を実施）

八六、九六〇千円



林業アカデミーふくしま研修施設

②管理運営費（林業アカデミーふくしま研修施設の管理運営）

一四、一五八千円

三、生産基盤の確保・整備と試験研究の推進

◆福島イノベ構想に基づく林業先端技術展開事業（3Dスキャナ

等搭載ドローンと深層学習を活用した帰還困難区域等の森林資源利用システムの開発）

一、六六九千円

原発事故の影響により森林施業が停滞している旧避難指示区域等の森林において、作業員の被曝を低減して効率的な森林施業を提案するためには、森林内の詳細な線量分布や森林資源情報の把握が必要です。

このため、3Dスキャナや線量計を搭載したドローンによる森林情報の取得技術や深層学習（AI）を活用し、樹種別の材積、単木毎の樹形や位置、詳細な線量マップ等を解析するシステムを開発します。また、構築したシステムや解析した森林資源情報を現場で容易に活用するための方法も検討します。

◆林道整備事業（林道整備事業、林業専用道整備事業、森林情報活用路網整備推進事業）

一、七七六、五六七千円

効率的な森林整備や安定的な林業経営の確立に資する林内路網の整備、林業就業者の多くが居住する山村地域の生活環境の向上、災害時の代替路となる林道の整備、機能の向上を図ります。

また、レーザ計測により広域的に詳細な地形データと森林資源データを取得し、市町村ごとの林業専用道などの路網計画の策定を支援します。

①林内路網の幹線となる林道・林業専用道の開設



林道を利用した木材搬出作業

②災害時の代替路となる林道の整備
③既設林道の局部的改良の補助
④レーザ計測の成果による市町村林業専用道整備計画の策定支援

四、活力と魅力ある農山漁村の再生

◆森林とのきずな事業

一三、〇一一千円

震災や原子力災害発生以降に希薄となった森林との絆を取り戻すため、ふくしまの森林に再び関心を持つてもらい、森林づくり意識の浸透や拡大を図ることを目的とした事業です。森林環境に関する情報を収集し、森林の現状や福島県森林環境税を活用した県産材利活用及び県民参画による森林づくりの情報を発信しています。

また、森林環境の適正な保全や持続可能な社会づくりを進めるため、森林認証制度の普及PRと認証取得の補助や、新たに社会の担い手となる二〇歳前後の青年を対象とし、福島県の森林に対する関心と理解の拡大を図るために、県内の大学等におけるサークル活動など、グループによる森林に関する自己学習活動の支援を行っています。

◆森林情報(クラウド)活用推進事業
(森林環境適正管理事業)

一八、四七七千円



ふくしま森まっぷ

森林情報の管理と業務の効率化、市町村や林業事業体等との情報共有を図るために導入した「ふくしま森林クラウドシステム」及び県民向け森林情報地図サイト「ふくしま森まっぷ」等の保守・運用を行います。



ふくしま森林クラウド

◆治山事業(復興創生)

九四七、六〇〇千円

東日本大震災の津波により失われた保安林の機能を確保(回復)するため、多重防御の一環として海岸防

災林造成を実施します。
事業内容は東日本大震災の津波被害を踏まえ、保安林の津波防災機能を強化することとし、林帯幅について、市町の復興整備計画に基づき概ね二〇〇以上に拡大するとともに、盛



令和5年度海岸防災林造成事業(浪江地区)

土により地下水水位から三メートル程度の植生基盤を確保し、クロマツ等の植栽により「粘り強い海岸防災林」を整備しています。

◆治山事業(一般治山事業)

四八四、四九七千円

森林の維持造成を通じて山地に起因する災害から県民の生命・財産を保全することや、水源かん養、生活環境の保全・形成等を図ることで、安全で安心できる豊かな暮らしの実現を図ります。

事業内容は、山地災害等による被害の防止及び保安林の機能を維持強化するため、溪流や山腹斜面の安定に向けた治山ダム工、土留工等の施設の整備や植栽、森林の造成等を行い、荒廃地及び荒廃危険地等の復旧整備を実施するものです。

林業アカデミーふくしま就業前長期研修 第二期生修了式の概要

福島県林業研究センター

令和五年三月十日に、県内での林業就業者を育成する「林業アカデミーふくしま就業前長期研修」第一期生の修了式を、井出孝利副知事や渡辺義信県議会議長をはじめとする来賓の方々のご臨席のもと、挙行しました。式では、一年間の長期研修の日々を写真の投影と解説により振り返り、その後、修了証書を伊藤正一林業研究センター所長が一人一人に手渡し、式辞を述べました。

井出副知事から告辞を、渡辺県議会議長から祝辞をいただき、修了生代表の大原武男さんから関係する全ての方への感謝の言葉とともに「一期生として研修を積めたことを誇りに、福島県の明るい未来に向かって、森を育み大切に守り育て続ける^{（くまひと）} 仙人となる」との答辞があり、式を閉じました。

令和四年度の林業アカデミーふく



修了生代表の大原さんからの答辞



修了証を手に記念撮影

しま就業前長期研修の運営にあたり、森林・林業関係者の皆様から多大な御支援と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。引き続き、研修運営への御支援と御協力をよろしくお願ひします。

林業の現場で必要な知識・技術は、広く・深く身に付ける必要があるものも多く、短期間で全てをマスターの皆さんには、日々の実務の中で焦ることなく、アカデミーで学んだことを踏まえながら、一步一步着実に向上し続けることを願ひます。

受講生の感想



池田 結

私がこの一年を通して一番感じたのは、自分が想像していた以上に女性性が林業に関わる事に話題性があることです。この一年、アカデミー生唯一の女性と言われ、正直何度もうんざりしましたが、周囲の人が「林業に携わる女性」に向けての目は、自分が考えていたものとギャップがあり、林業界における女性の活躍が期待されているということを知る良い経験となりました。

研修生同士の仲は非常に良く、講師陣含め、こんなに恵まれた人間関係の中で林業を学べたことは貴重であり、非常に充実したアカデミー生活を送ることができました。

就職先では測量をメインとした業務に就きますが、引き続きチェーンソー技術の向上に努め、各現場の作業員がいるからこそ、林業を生業にできること、ひとりではなく、家族、友人、同期、同僚に支えられていることを忘れず、安全第一に業務に励んでいきたいと思ひます。



池田 竜太

一年間の長期研修を修了しました。大学を卒業してアカデミーに入講したのがつい昨日のことのように感じて驚きを隠せません。入講したころはチェーンソーの使い方や伐倒の仕方など林業の右も左もわからなままのスタートでした。しかし、一年経った今では林業に関するある程度の知識を身につけることができ「仙人」に一歩近づいたような気がします。インターンシップの中で、ある林業従事者の方に「ちゃんと仕事をすれば楽できる。楽をするためにちゃんとやる。」という言葉をいただきました。この言葉は当たり前のように聞こえますが、実践するのは簡単ではないのだと思ひます。林業はほかの業種と比べて労働災害が多いといいますが、必要な手間や体力を惜しまない（ちゃんとする）ことで労働災害の芽を摘めば、結果的にスムーズに仕事が進む（楽できる）と考えます。

四月からは私も一人の林業従事者として、当たり前前々を当たり前前にできるように精進していきます。



宇野 太郎

短い研修生活が終了し、林業従事者としての生活が始まろうとしています。どのような講義内容がいか検討計画・実行してくださった県職員の方々やアカデミー運営にご協力いただいた各団体・事業体の皆様、本当にありがとうございました。

第一期生として、学ばせていただきながら、研修内容を私なりに評価し改善につなげられるようにお伝えしてきました。良いところは継続し必要などころは改善して、他県の林業大学校・アカデミーよりも素晴らしい研修の場となつてほしいです。

私たち第一期生は、我が事のみでなく今後、第二期生以降の指針にもなることを自負している者も多く、ここを巣立ってからもこの「林業アカデミーふくしま」という看板を背負っていることを忘れず、また、その修了生としてアカデミーに価値があることを福島県森林組合・事業体に知っていただけるよう活動していかなければいけないと私個人は考えています。このアカデミーに集った年齢も性別も森林に対しての価値観も違う者に巡り合え、共に学び、共に成長できたこの一年間は私の財産だと思っています。

重ね重ねになりますが、アカデミーを運営していただいた県職員の皆様、安全に係る講義に幾度もお越しくくださった林業防の鈴木事務局長、インターンでお世話になりました環境管財株の皆様と（株）メリカ屋の皆様、各講義で来てくださった方々、本当にありがとうございました。



大野 端希

柚人を目指して入講した、林業アカデミーふくしままでの一年間の長期研修の修了を迎えました。

この一年間はたくさんの方からたくさんのお話を学び、とても濃い研修の日々でした。また、設備が整った施設で研修を受ける事ができ、とても充実していました。

チェーンソーはもちろん、林業に必要な様々な資格に関わる知識や技術を高めることができました。林業の仕事において何が危険かを学んだことで、現場でも状況に応じた危険性に気づけるようになってきましたので、これからの仕事も常に安全第一を意識して作業をしていきたいと思えます。

研修生同士も仲良く、これからもこの繋がりを大事にしていきたいです。

この一年間で覚えたこと・身に付けたことは、就業してからも忘れずに活かして頑張っていきたいと思えます。



大原 武男

山に吹き渡る春めいた風を受けながら、アカデミーでの一年間の研修を振り返ってみました。

あつという間に過ぎた充実の一年間。私にとつて特に思い出深いのは伐倒練習です。

当初はソーチェーンの目立ても、受け口・追い口をつくることも上手にできない、そもそもチェーンソーが重たくて、伐倒練習のあつた日はくたくたになっていました。

そんな私でしたが、様々な方の御指導や同期生との切磋琢磨のおかげで、伐倒技術を向上させることができたと感じています。

私は年齢を重ねていることもあり、一年間ケガのないよう人一倍気を付けながら研修に取り組んできました。今、無事にケガなくアカデミー修了を迎えられ、ほっとしています。

しかし、これからが本番です。四月からの就業先では、アカデミーで学んだことを充分に活かし、引き続き事故やケガのないよう気をつけながら、福島県の林業へ貢献していきたいです。



菅野 雅樹

私の祖父は林業関係者ですが、私はこのアカデミーに来るまでは林業について全く知りませんでした。そのため、一年を通じて林業の必要性、伐倒技術、重機の操作・整備方法など様々なことを学ぶことに注力しました。また林業の経済の仕組みや経営の方法に関する講義も大変興味深く、勉強になりました。季節によって寒かったり暑かったりと気温変化のあるなか山で作業するのは大変ですが、林業がやりがいのある仕事ということを研修の中で感じる事ができました。

研修が終わってしまうのは残念ですが、私の人生においてもとても有意義で楽しい一年間となりました。





小泉 朋也

この一年間は、林業の知識と技術を深める充実した期間となりました。

知識としては、環境としての森林の在り方、森林の環境を第一に考えた間伐等整備の仕方を学べたことが特に良かったと思っています。

技術としてはやはり、チェーンソーの実践練習の中で、立木を様々な状況に応じて伐倒できたのは重要な経験だったと思います。

これまでの学びによって、日本の環境は林業によって支えられているのを改めて感じました。私は今後、自分が育ってきた船引の森やふくしまの森を守るために力を尽くしていきたいと思っています。林業業界の一人として、人間として、少しずつですが環境に貢献していきます。



齋藤 宏樹

この一年間では、林業に根付く伝統的な知識・技術、林業に関する最新知識・技術を学んできました。強く思うのは、温故知新の意識的な実践です。必要な伝統は積極的に残り、より安全性・効率性向上が期待される場合は、最新技術を大胆に取り入れ、新しい林業を創っていきたいです。

それはモノ・コトに限らず、ヒトについても同様です。先輩と後輩の間に立ち、伝統と最新の橋渡しをします。より具体的にみると、教本と現場のバランスをとった方法を実践する人になると言えます。

そう夢は描くものの、実際就業すると、悪しき慣習が壁となることも多々あるはずですが、温故知新を柱に、より安全であり、その結果効率が向上するというまなざしを持ち、取捨選択を行います。「社会のために」「福島のために」「自然のために」この命を燃やす人生がいよいよ始まります。共に学んだ研修生と県内各地に散らばり、それぞれの温故知新で福島の林業を憧れの産業にしていきます。



田中 裕顕

林業アカデミーふくしまに入講したばかりの一年前と比べると、知識が増え、肉体も多少逞しくなりました。

一年間を振り返り、アカデミーに入講して良かったと思えることは、林業の知識やスキルを学べた事はもちろんですが、一番は講師の方々を初め、インターンを受け入れて頂いた事業者の方々、林業アカデミーふくしまの職員の方々、そして林業アカデミーふくしま一期生のみんなと繋がりを持てた事だと思います。

林業アカデミーふくしま一期生となり学び、考え、実践したことは私の人生の大きな糧となりました。これからはふくしまの林業を担う柚人として一期生のみんなと切磋琢磨し、林業を盛り上げていきたいです。そして、林業アカデミーふくしまが二期生、三期生と続きアカデミーの若い枝葉が福島中に伸びることを願っています。



野村 勇太

最初に、試行錯誤しながら親身に相談に乗って頂いた県職員の皆様、講師として座学や実習を担当して頂いた多種多様な方々、一年間共に学んだアカデミーの仲間にも多大な感謝を申し上げます。

林業アカデミーふくしまでの研修の修了に際し、これまでを振り返ってみると、林業事業者でのインターンシップが特に強く心に残っています。私が就業させて頂く有会社平子商店にインターンシップでお世話になった際は、従業員の皆さんが高い技術を持っており、そのうえ林業を生きがいにされている方が多いことに感銘を受けました。私も自分の楽しさや夢を見つけて働いていきたいと思うと同時に、これからの林業を盛り上げていく第一人者になつていこうと強く思いました。

一年間受けてきた長期研修を修了しました。座学や資格取得、実習や就業体験など、忙しくも楽しい日々でした。

入講した頃は仮教室でしたが、九月には新しくできた研修施設に移り、より良い環境で研修を受けることができました。

一緒に学んだ仲間たちは、同じ林業の世界を目指す者同士気が合い、空いた時間には林業についての話や趣味の話、休日の出来事の話など、和気あいあいと語り合うこともありました。今後、県内各地の別々の事業体で働くこととなりますが、連絡を取り続け、困った時や辛い時に、頼り頼られたいと思います。

林業アカデミーの研修では、様々な講師の方から、林業の知識や技術について幅広く学びました。これからは実務の中で経験を積んで、ゆくゆくは林業のプロフェッショナルとして安心して仕事を任せていただけるようになり、福島のエコ産業を盛り上げていけるよう頑張ります。



橋本 裕樹

このアカデミーの一年間は本当に素晴らしい充実した日々でした。アカデミーで培ったチェーンソー技術は、インターンシップで大活躍させる事ができ、これまで一つ一つ受けてきた講義と実習はしっかりと身につけ、実力を発揮させる事が出来ました。一年間という短い期間ではありましたが、同じ道に進む仲間とも出会い、人としても成長する事ができた一年間でした。これからの抱負として、私はアカデミーで取得した資格を就職先の森林組合で上手く活用し、自分自身の技術を磨きながら怪我なく安全に経験を積んでいきたいと考えています。

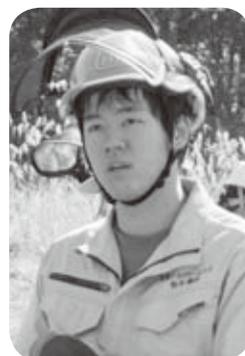


穂積 直人

私はこの一年間、林業アカデミーふくしまでいろいろなことを学びました。

その中で特に面白かった研修は、木材の流通、加工そして立木の伐倒、造材技術です。

伐倒と造材技術は、自分が林業で働くうえで一番必要になるスキルだと考えていたので、絶対に身につけるぞと意気込んで講義を受けていました。木材流通と加工は、アカデミーに入講した当初は興味を持っていませんでしたが、講師の方々の話を聞く中で、山で伐って出した木材がどのように世の中を回って利用されるのかを知り、とても興味深いと思いました。



松本 健成

この一年間で学んだことを就職してから活かせるように頑張りたいです。

高校を卒業後、林業アカデミーふくしまに入講して一年が経とうとしています。今思えばあつという間の一年間でした。緊張して周りに馴染めるか不安だった頃の自分を思い出します。蓋を開けてみれば大いに人に恵まれ、他の研修生達と共に素晴らしい研修生活を送ることができました。

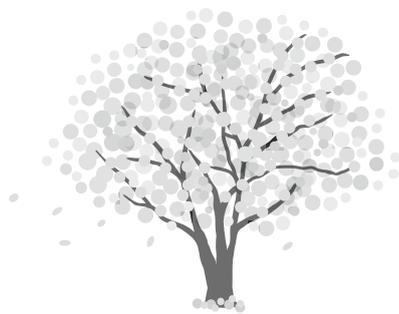


渡部 大斗

この一年間の研修の中では、林業のさまざまな知識・技術・資格等を取得することができました。私が今後林業の仕事をしていくうえでかけがえのない経験となったと思います。

将来、私自身がチェーンソーの知識や技術などを指導できる人材になれるように、これから頑張りたいと思います。

林業アカデミーふくしまで学ぶことができて本当に良かったと思います。素晴らしい一年を過ごすことができました、ありがとうございます。



森林管理署×木

国有林の分収造林
(部分林) 契約における
事務手続きについて



福島森林管理署白河支署で令和四年度から分収造林(部分林)担当者として事務手続きを担当し、この中で、組合長が高齢で亡くなったため、家族も部分林の引継ぎ文書も分からない等、事務手続きをどうすればよいのかと組合員からの問い合わせが多くありましたので、この機会に手続き等を紹介したいと思います。

*以下「」の書類については様式がありますので、最寄りの森林管理署等までお問い合わせください。

1 契約者等の変更

代表者が亡くなった場合、組合の中で総会を開いて組合員の同意により、新代表者等を決めていただきます。新代表者の名で総会日以降に最寄りの森林管理署又は、支署及び森林事務所(以下「森林管理署等」という。)へ「部分林契約の契約者等の変更について」を提出願います。添付書類は変更内容を証する書面になり、「総会議事録」、「代表者の

変更に関する証明書」、「暴力団排除に関する誓約事項」の三点を併せて提出願います。

(1) 総会議事録

新組合長の住所・氏名、総会の日、総会場所、組合員出席者何名、議題は、部分林組合長改選について、部分林組合の加入・脱退についてなど必要事項が記載されたもの。

(2) 代表者等の変更に関する証明書

分収造林(部分林)組合の新役員について、新組合長も記入し、新役員(三人以上)の氏名の下に(組合長とか会計とか役職を)記入し併せて、電話番号もお願いします。

(3) 暴力団排除に関する誓約事項

既定の様式に提出日、住所を、新組合長自筆で記入願います。

2 組合員名義の変更

組合員が、亡くなった場合等、相続人が名義変更する場合は、組合長に「組合員名義の変更届」を提出し

ます。

相続人の住所が違う場合には、組合員との親子関係がわかる続柄等変更内容がわかる書類を添付願います。

組合長は、「組合員名義の変更届」と、必要な添付書類をもって、森林管理署等へ「部分林組合員の名義の変更について」を提出願います。

3 組合員の加入

組合の、保育管理を協力し、その縁で加入した場合は、組合長に「部分林組合の加入届」を提出します。その他必要な添付書類は、住民票等を添付願います。

組合長は、加入届をもって、組合員の同意をとり、森林管理署等へ「部分林組合 加入 承認申請書」を提出願います。

4 組合員の脱退

組合員が、今後の部分林事業に出役できず、その権利一切を放棄する場合、組合長に「部分林組合の脱退届」を提出します。

組合長は、脱退届をもって、組合員の同意をとり、森林管理署等へ「部分林組合 脱退 承認申請書」を提出願います。

5 伐期・存続期間の変更

多くの分収造林(部分林)契約が満期を迎え、伐採時期の集中、立木公

国有林分収造林制度の概要

1 定義
国有林の分収造林は、造林者(国以外の者)が契約により国有林野に木を播き、一定期間育て、伐採し、その収益(販売代金)を国と造林者とで一定の割合で分収する制度。

2 仕組みの主な内容
(1) 播栽する樹種は、主として一般的な造林樹種(主にスギ、ヒノキ等)。
(2) 対象面積は、原則として1ha以上を対象。
(3) 契約期間は、最長60年。
(4) 収益の分収割合は、通常、造林者7:国3
(5) 分収木(播栽された樹木)は、国と造林者の共有。

売の急増、入札不調等により、存続期間の変更が見込まれることから、下記の変更手続きが必要となります。

(1) 伐期・存続期間の延長
組合契約の伐採年・存続期間の延長については、十年以内の契約期間及び伐期の変更に関し、森林管理署等に委任していただきますので、相談願います。

(2) 伐期の短縮
契約の目的が、木材の生産であることから、販売しそれなりの収益が得られる利用期に達している場合で、伐採年の短縮については、相談願います。

最後に分収造林(部分林)契約においては、長期間の契約、代表者等の代替わりでうまく引き継げない状態であれば、最寄りの森林管理署等までお問い合わせ願います。

*参考 別紙「国有林分収造林制度の概要」

木の文化を育む④9

森と暮らしをつなぐ〜地域を担う人づくり〜

(有限会社ラ・ビータ)

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子

○はじめに

里山の暮らしには、古来より自然と共生する知恵や文化が息づいています。生活のために必要な道具や炭、山菜など、人々は森の資源や季節の恵みをいただきながら里山を維持し、人や地域の循環を生み出してきました。森と人々の暮らしをつなぐさまざまな取り組みは、自然共生型社会の実現と地域を担う人々を育てます。

○行きつけの杜プロジェクト

創業1925年、有限会社ラ・ビータ(郡山市)は、先人たちが育てた森が生み出す木材で、次世代も使い続けることができる家具をつくっています。また、森という場とおして人をつなぎ「やりたい!」を活かす『行きつけの杜プロジェクト』を発足し活動しています。

○三春vivoの杜の活動

2018年のクラウドファンディングからスタートした「三春vivoの杜」での活動は、森と人々の暮らし

をつなぎ、自然との共生を実践するさまざまな活動を展開しています。

これらの活動には日本古来の理に適った知恵や文化を伝え、人々の自然への関心と呼び起こすノウハウが沢山詰まっています。そして大切なモノ・コトを次の世代へ継承し、守り育てたいという想いをさまざまなかたちで地域社会へ発信しています。

○自然土木ワークショップ

2019年より三春vivoの杜では、『土中環境』著者 高田宏臣氏による環境改善ワークショップや、きこりに学ぶチェンソーワークショップをとおして、自然土木を実践しています。ワークショップには、地元住民のみならず遠方からの参加者や大学生も参加しており、植林活動や学生に向けたスタディツアーも実施しています。自然土木の方法を進めてきた植林活動により、地中に水と空気が入り、作業をしていると地中がやわらかくなっていることがよく分かるそうです。

○地域とのつながり

森づくりでは、地域とのさまざまなつながりが生まれます。仲間とともに互いの地域のフィールドづくりや間伐作業をしたり、地元の高校生と竹炭や燻炭、落ち葉を使って土の作り方を学び、どんぐりのポット苗を育てたりします。一人では成し得ないことも地域の人々がつながり手を取り合うことで、想い描く未来を着実に少しずつ実現しています。

○杜のフィールドづくり

三春vivoの杜のフィールドには、落ち葉ステーションやバイオトイレ、石場建ての小屋などをつくりました。落ち葉ステーションに集められた地域の落ち葉は土壌改良のための腐葉土として使用します。

○木工で『木育』

これまでに経験のないことを体感し、実感することで、暮らしの中の物の見方が変わります。有限会社ラ・ビータでは、気付き、発見、感動が得られる時間をつくるため、森と暮らしをつなぐ活動の一環として『木育』ワークショップを開催しています。三月二五日に開催された「ミニロボくんを作ろう」ワークショップでは、全国で木育ワークショップを開催している株式会社エテの講師を招いて、静岡県産の杉材を使った木育ツール「ミニロボくん」を制作しました。「ほぞ組み」で簡単に完成



木育ワークショップ「ミニロボくんを作ろう」



【土中環境】ワークショップ

○まとめ

森と暮らしをつなぐさまざまな取り組みは、地域の循環を担う人づくりにつながります。貴方もぜひ森と暮らしをつなぐ活動に参加してみませんか。

県森連いわき共販における木材市況（3月分）

令和5年4月1日
福島県森林組合連合会

(単位：㎡当り千円)

樹種	素 材				摘 要
	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	
スギ	4.00	9下	12.5	12.0	
		10~13	14.5	13.8	
		24上	10.5	10.1	
	3.65	16上	11.6	11.0	
		24上	10.5	10.2	
	3.00	9下	12.0	11.0	
		10~13	12.0	11.8	
		14~16	10.2	10.0	
		18~20	12.0	11.6	
	6.00	22上	11.6	11.4	
16~20		17.4	17.0		
2.00	16上	7.5	5.5		
ヒノキ	4.00	10~13			
		14~16			
		18~20			
		22上			
3.00	16~20				
アカマツ	4.80	18~22	8.0	7.0	
	4.00	18~22	9.0	8.0	
		24上	10.0	9.0	
	3.00	16~22	6.0	5.0	
		24上	7.0	6.0	

樹種	素 材				摘 要
	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	
カラマツ	4.00	12下			
		13~14			
		16上			
クリ	4.00	16上	18.0	15.0	
	3.00	16上	14.0	10.0	
モミ	4.00	20上			

市況概要と市況展望	4月の共販日
入荷量は多いです。販売量は3,380㎡（前年同月比91%）でした。 市況は、製品の動きが悪いこと、木材量超過等の影響で値下がりがしています。荷動きも悪く木材の流れが滞っています。 先行き、この状況が長期化する恐れがありますので、出荷する際は十分に考慮の上出荷お願い致します。	7日(金) 17日(月) 27日(木)

行 事 と お 知 ら せ
なるべく時差の無い木材市況情報をお届けするため、今月号から県森連いわき共販所における木材市況を掲載します。 これまで掲載していた県とりまとめによる木材市況については、県のホームページをご覧ください。

福島県 木材市況

検索

四月号への掲載とのこと、富岡町の桜の話題に触れたいと思います。富岡町の夜の森地区には、夜の森公園内や、およそ二・二キロメートルにわたる道路の両側に、数多くのソメイヨシノが植えられています。この地区の桜は、緑の文化財にも指定された「桜のトンネル」の様子は、福島県を代表する桜の名所の一つと言えるのではないのでしょうか。

夜の森地区の桜は、明治時代に植えられたとされており、現在も桜並木維持のための事業が行われながら、地域住民から大切にされています。

震災後、夜の森地区は帰還困難区域に指定され、地区への立入りが規制された時期もありましたが、規制の緩和により現在は地区内全ての桜を観賞することができます。四月上旬には、町が主催する桜祭りも行われており、夜間の夜桜ライトアップも含め、富岡町が最も賑わいます。

(四月八日、九日には「桜まつり20



「夜の森の桜並木」

福島県相双農林事務所
富岡林業指導所

細澤 めぐみ

23」が開催されるようです。今年には桜の開花が例年より早いようですので、冊子が皆様のお手元に届く頃には葉桜かもしれないかもしれませんが、これからは毎年きれいな桜並木を見せてくれることでしょう。葉桜のトンネルも見応えはありますが、是非花が盛りの時期にお越しいただければと思います。



はなしの
ひろば

表 現

町を歩いていると、老舗和菓子屋さんのガラス戸に「桜餅あります」「柏餅あります」と流れるような筆字の半紙が張られると、もうそんな季節になったのかと思う。墨色にほんのり桜色や柏の香りが漂っているようで、暮らしに巡ってくる節を感じる。

さて、四月二十六日～六月十八日まで青葉山公園追廻地区等（仙台市）をメイン会場に、第四〇回全国都市緑化仙台フェアが開催される。「杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く」がコンセプト。幼なかつた緑も少しずつ色濃くなっていく、今季節の開催に心躍るものがある。そして、そのフェアに福島県造園建設業協会がひとつの庭を出展する。相馬野馬追をイメージして馬蹄の形のように緩やかに上がっていく径、その径を登りきったところの頭上に広がる空は、智恵子が愛したほんとうの空。中景は、中山風穴（下郷町）のように涼風が吹き抜ける石垣。広場は、中通りの盆地を思わせる。福島の見逃せない景色を随所に織り込みながら、大好きなふる里「ふくしま」の傷が緩やかでも全て癒えることを心から願って作庭された。そして、その庭には「ゆるやかに登り行く」というタイトルがつけられた。石も木も素材の良さを生かすためになるべく加工はしない。高価で特別な資材を使わなくてもきれいに頑強な石垣が作れ、木組みができる。福島の庭屋の底力が、やさしい曲線を平面的にも立体的にも繋いでいく。それぞれ培ってきた庭屋の心意気を集結し、思う存分に発揮された三〇平方メートルの限りの表現だ。

表紙の写真



「春の日射しを浴びて」

第19回ふくしま森林・林業写真コンクール優秀賞（県森林・林業・緑化協会長賞）
受賞者 小林正義さん（石川町）
撮影場所：棚倉町

編集

発行人

福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
（福島市中町五番一八号県林業会館内）
飯沼隆
陽光社印刷株式会社
（定価 一〇〇円）

お知らせコーナー

令和5年度

一般財団法人福島県林業会館
フォレスト助成金(協賛)事業の募集要項

1. 趣 旨 一般財団法人福島県林業会館（以下、林業会館という）は公益事業としてフォレスト助成金（協賛）事業を募集する。
2. 総 額 4,000千円
3. 募集事業の内容
 - (1) 対象事業 イ. 森林の整備 ロ. 木材の利活用 ハ. 特用林産の振興 ニ. 森林・林業教育学習 ホ. 森林とのふれあい推進 ヘ. 森林・林業に関するその他必要と認める事業
 - (2) 事業費 一事業あたりの助成金（協賛）額は、原則として20万円以内とする。
4. 助成（協賛）対象者
 - (1) 県内の林業に携わる県内所在の団体であること
 - (2) 交付条件を遵守することが確実であること
 - (3) 交付金によって目的事業を実施することが確実であること
5. 申請方法
 - (1) 申請手続 申請手続 事業の目的、内容、交付申請額を福島県林業会館事務局まで提出する。詳細は事務局まで電話でお問い合わせください。
 - (2) 事業の実施期間 令和5年4月1日から1年以内
 - (3) 受付期間 令和5年4月1日から5月末日まで
6. 事業の採択決定
林業会館が設置する「フォレスト助成金審査委員会」で選定いたします。
7. 応募先 〒960-8043 福島市中町5番18号 一般財団法人福島県林業会館事務局あて
TEL・FAX 024-522-2407

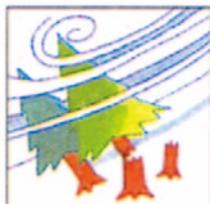
備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



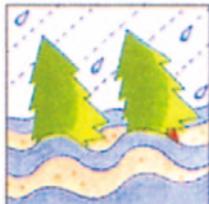
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



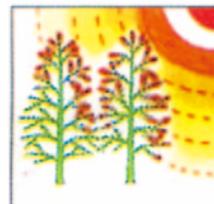
3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



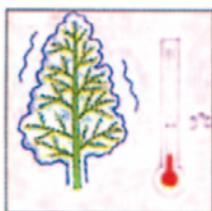
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)
または最寄りの森林組合

イワフジのGPシリーズ
グラップルプロセッサ

GP-35B

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

製品情報



傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ

- ・最大38度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- ・全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- ・サイドカット解除機能により曲がり材に対応
- ・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材
- ・GP-8コントローラを搭載
- ・新開発のスタッドローラ(オプション)

For the future with forest

イワフジ工業株式会社

<http://www.iwafuji.co.jp/>



(仙台支店) 〒981-3133 宮城県仙台市泉区中央1丁目16-6
TEL 022-347-3689 FAX 022-347-3699
(本社・工場) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1
(支 店) 札幌・東北・仙台・関東・中部・関西・中四国・九州



東北コピー販売

福島office 福島市御山一本松13番5号 TEL 024-559-0245
郡山office 郡山市富田町後久保60-1 TEL 024-961-1961

<https://t-copy.co.jp>



人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



SR3100

For Professional



GZ3950EZ
排気量 39.1cc

GZ4350EZ
排気量 43.1cc



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



破碎径：200mm 出力：18.4kW



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

(有) うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1